

# ウメト インフォメーション

2021年 5月 17日 担当 小松

## RITE

### 50年電源構成の再エネ割合5割以上でコスト大幅増／低減策立案が急務

地球環境産業技術研究機構（R I T E、茅陽一理事長）は、2050年の電源構成で再生可能エネルギーの割合を5割以上とした場合、電力コストが大幅に増えるとの試算結果を明らかにした。現行コストは1キロワット時当たり13円程度（20年時点）。50年に再エネ比率を54%にした場合は約2倍近くの24・9円になる。比率を100%にした場合は同53・4円に膨らむ見通しだ。再エネの導入を拡大し産業競争力を強化する上でコスト低減策の立案が急務になりそうだ。

総合資源エネルギー調査会（経済産業相の諮問機関）基本政策分科会（分科会長・白石隆熊本県立大学理事長）が東京都内で13日に開いた会合で、試算結果を示した。経産省は50年カーボンニュートラル（温室効果ガス排出量の実質ゼロ）の実現に向けて複数のシナリオを設定し、比較検証しながら電源構成や政策などを検討する方針。経産省は昨年12月、50年の電源構成で再エネの割合が5～6割という参考値を示した。

R I T Eは参考値を基に構成比を▽再エネ=54%▽原子力=10%▽水素・アンモニア=13%▽CCUS（二酸化炭素の回収・有効利用・貯留）・火力=23%とするケースを設定。コストを1キロワット時当たり24・9円とした。

再エネ比率を5割以上とするシナリオとコストも複数提示。▽再エネ価格が飛躍的に低減（再エネ比率63%）=1キロワット時当たり22・4円▽原子力の活用が進む（同53%）=同24・1円▽カーシェアリングとライドシェアが大幅に進展する（同51%）=同24・6円と試算している。

平地や遠浅の海が少ないといった地理的条件を踏まえると、再エネの導入量が拡大すれば用地確保に向けた土地造成や接続費用などが必要になる。再エネの導入量を増やし主力電源化するには、発電設備の適地確保や発電効率の高い機器の開発などコストを低減する取り組みが一段と求められそうだ。



研究  
総研  
産東

## 低濃度CO<sub>2</sub>効率変換

### 尿素誘導体合成法を開発

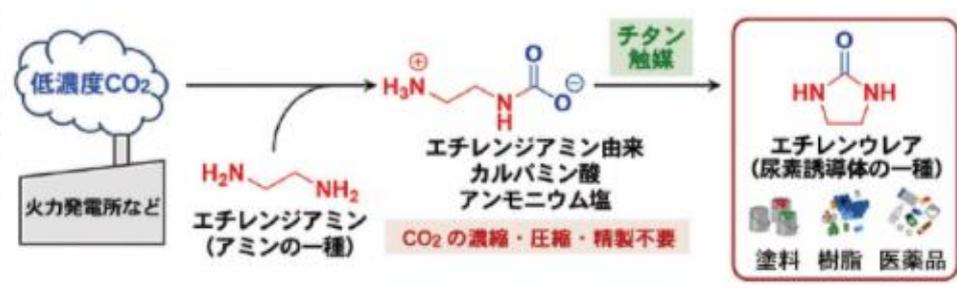
産業技術総合研究所・触媒化学融合研究センターと東ソーは14日、火力発電所排気ガス相当の低濃度CO<sub>2</sub>から、樹脂や溶媒、医薬品の原料として有用な化学品である尿素誘導体を合成する触媒反応を開発したと発表した。地球温暖化の原因であるCO<sub>2</sub>の排出量削減につながる技術として期待される。今後、開発した反応を実際の火力発電所排気ガスを用いて検証した後、工業スケールでの実用化を目指していく。

相当する低濃度CO<sub>2</sub>（体積比率15%）とアミンの一種であるエチレンジアミンから簡便に得られるカルバミン酸アンモニウム塩にチタン触媒を作用させて、有用な化学品であるエチレンジアミンなどのさまざまな尿素誘導体を効率的に合成できる技術を開発した。

将来的にも重要になる日本において、カーボンニュートラルを実現するために有望なCCU（二酸化炭素回収有効利用）技術になると期待される。同研究開発は新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の委託事業「NEDO先導研究プログラム／未踏チャレンジ2050（2018～21年度）」の支援を受けた。

研究開発成果は14日に英国学術誌「Communications Chemistry」に掲載された。

開発した低濃度CO<sub>2</sub>からの尿素誘導体合成技術の概要





## 最終益859億円 過去最高

### 2020年度 石油事業実質533億円

コスモエネHD

コスモエネルギーホールディングスが13日に発表した2021年3月期連結決算（2020年4月～2021年3月）は、営業利益101.3億円、経常利益81.1億円（49.7%増）の97.4億円。親会社株主に帰属する当期純利益は11.4億円増の85.9億円（過去最高を更新した）。

損失52.2億円から改善。在庫影響を除いた実質経常利益は76.6億円で、81億円の増益だった。このうち石油事業は121.9億円増

の74.1億円と黒字化した。実質益は53.3億円で、48.9億円の増益となった。原油価格上昇時のプラスのタムラクでマージンが改善。コロナ禍で需要が減退するなか、キグナス石油への供給で燃料油販売量（輸出含む）も98.4%と堅調を維持し、マージン・数量要因で38.2億円

の増益を確保した。石油開発は数量要因で13億円増も、油価下落による39.6億円の減益が響き、31.1億円減の13.9億円にとどまった。再生可能エネルギーは41億円。洋上風力開発の先行コストが発生し、8億円の減益だった。

連結決算概要は次の通り（カッコ内前年度）。

売上高	2兆233億5000万円
営業利益	101.3億円
経常利益	81.1億円
当期純利益	85.9億円
損失	28.1億5000万円

## 人事情報

### 前田道路

(6月25日) 取締役、常務執行役員管理本部長兼社長室長富安敏明▽同 (監査役) 橋本圭一郎▽常務執行役員 (取締役兼常務執行役員) 東京支店長大西国雄

### 日本道路

(6月25日) 監査役、山森裕一▽退任 (監査役) 福田勝美

### 三井住建道路

(4月1日) 会長 (社長兼執行役員社長) 松井隆幸

社長兼執行役員社長 (取締役兼常務執行役員工事本部長兼安全統括兼安全環境部担当) 蓮井肇

専務執行役員 (常務執行役員) 取締役営業本部長西和昭

(6月下旬) 取締役、伊藤弥生

### 東亜道路工業

(6月29日) 取締役関係事業部・CSR推進部管掌 (関係事業部担当) 常務執行役員管理本部長福原静夫▽取締役、田原裕子▽同、高田洋平▽監査役 (取締役兼常務執行役員管理本部管掌兼CSR推進部担当) 竹内良彦▽常務執行役員 (同兼常務執行役員) 北海道支社長浅井敏夫▽同CSR推進部担当 (監査役) 野田雅之▽退任 (取締役) 高田敏明

# ウメモト インフォメーション

2021年 5 月 17 日 担当 小松

## 前田建設ら3社／10月に共同持ち株会社設立／社長は前田建設・岐部一誠氏

前田建設と前田道路、前田製作所の3社は14日、10月1日に設立する共同持ち株会社の名称が「インフロニア・ホールディングス（HD）」に決まったと発表した。

資本金は200億円。会長に前田建設の前田操治社長、代表執行役社長に前田建設の岐部一誠取締役兼専務執行役員が就任する予定。新会社の取締役9人は3社が6月に開催予定の定時株主総会の承認で決まる。9人の執行役は10月1日に開く新会社の取締役会で正式決定する。インフロニアHDは10月1日付で東証1部に新規上場。事業会社になる3社は9月29日に上場を廃止する計画だ。

同日開いた各社の取締役会で経営統合契約を承認し、株式移転計画を共同で作成した。3社の連携を強めることで経営環境の変化に対応可能な強固な経営基盤を構築。グループ全体でのシナジー（相乗効果）発揮を狙う。

同日発表したHD設立に向けた中長期経営ビジョンでは、31年3月期の連結業績目標として営業利益1000億円以上（22年3月期予想505億円）、純利益700億円（360億円）以上を設定した。

# ウメモト インフォメーション

2021年 5月 17日 担当 小松

## 主要ゼネコン27社／21年3月期決算／21社が減収、海外工事の中断など影響

主要ゼネコン27社の2021年3月期決算が14日に出そろった。連結ベースの売上高はコロナ禍に伴う国内、海外工事の一時中断などの影響を受け24社が減収。本業のもうけを示す営業利益も17社が減少した。堅調に推移する国内官庁工事に加え、コロナ禍で低迷した民間投資も徐々に回復との見通しから、22年3月期の連結業績予想は17社が増収を見込む。

手持ち工事の順調な消化などで前田建設と熊谷組、ピーエス三菱の3社が増収を記録した。営業増益は前田建設や熊谷組、フジタ、安藤ハザマなど10社。

工事の採算性を示す単体の完成工事総利益（粗利益）率は、公表しているゼネコンのうち9社が前期の実績を下回った。ただ「設計変更による請負金増加や原価圧縮などで大幅に改善した」（大林組）ことなどを背景に、16社が2桁の高水準となった。

業績の先行指標となる単体受注高はコロナ禍に伴う国内民間投資の冷え込みや海外工事の大幅減などで15社が減少した。三井住友建設など大型受注が相次いだ前期の反動減を理由に挙げる企業も多かった。「シンガポールや香港で大型工事の受注増が寄与した」（五洋建設）ことなどで、11社が受注を伸ばした。

コロナ禍の影響は、国内で今後も限定的と見る企業が多い。海外は大半の工事が再開し、北米などで今期は投資が回復すると見る。国内工事が横ばいで推移する中、海外事業の回復などを理由に22年3月期は受注増を見込む企業が目立っている。

新型コロナウイルスの収束にめどが付かず、民間設備投資の動向には不透明感が漂う。準大手、中堅ゼネコンには競争激化を懸念する声もある。一方で「コロナ禍の影響は一部。（中小規模案件も）20年度下期からは受注は回復に向かい、大きく落ち込んだ感じはない」（大手ゼネコン）との声もあり、競争環境への受け止めはまだら模様だ。

21年度から中期経営計画がスタートするゼネコンも多い。次の成長基盤をどう築き上げていくのか。他社の一歩先を行く取り組みが求められそうだ。

# ウメト インフォメーション

その2

2021年 5月 17日 担当 小松

主要ゼネコン27社の21年3月期連結決算

(単位：億円、%、△はマイナス)

会社名	売上高	営業利益	経常利益	純利益	受注高	完工総利益率
鹿島	19,071 ( △ 5.2)	1,272 ( △ 3.6)	1,397 ( △ 4.7)	985 ( △ 4.6)	12,652 ( 7.0)	13.6 ( 13.4)
	20,100 ( 5.4)	1,040 ( △ 18.3)	1,140 ( △ 18.4)	800 ( △ 18.8)	12,800 ( 1.2)	11.6 ( 13.6)
大林組	17,668 ( △ 14.8)	1,231 ( △ 19.4)	1,287 ( △ 19.0)	987 ( △ 12.7)	15,299 ( △ 1.7)	13.3 ( 12.9)
	19,100 ( 8.1)	950 ( △ 22.9)	985 ( △ 23.5)	715 ( △ 27.6)	14,050 ( △ 8.2)	10.4 ( 13.3)
大成建設	14,801 ( △ 15.5)	1,305 ( △ 22.2)	1,359 ( △ 21.6)	925 ( △ 24.2)	13,214 ( △ 1.4)	14.7 ( 14.2)
	16,400 ( 10.8)	900 ( △ 31.0)	930 ( △ 31.6)	630 ( △ 31.9)	15,400 ( 16.5)	10.4 ( 14.7)
清水建設	14,564 ( △ 14.2)	1,001 ( △ 25.2)	1,054 ( △ 23.6)	771 ( △ 22.0)	12,009 ( △ 5.8)	12.3 ( 13.0)
	15,500 ( 6.4)	765 ( △ 23.6)	770 ( △ 27.0)	580 ( △ 24.8)	13,900 ( 15.7)	9.4 ( 12.3)
長谷工コーポレーション	8,094 ( △ 4.3)	729 ( △ 15.1)	718 ( △ 15.7)	482 ( △ 19.4)	4,303 ( △ 8.8)	17.2 ( 17.3)
	8,500 ( 5.0)	780 ( 7.0)	750 ( 4.4)	510 ( 5.7)	4,700 ( 9.2)	17.1 ( 17.2)
前田建設	6,780 ( 39.0)	463 ( 36.1)	456 ( 24.8)	232 ( 62.3)	4,118 ( 0.8)	14.2 ( 13.6)
	7,144 ( 5.4)	467 ( 0.8)	460 ( 0.7)	235 ( 1.0)	4,200 ( 2.7)	12.4 ( 14.2)
戸田建設	5,071 ( △ 2.2)	276 ( △ 21.4)	303 ( △ 20.7)	197 ( △ 23.6)	4,289 ( △ 10.7)	11.7 ( 12.8)
	5,150 ( 1.6)	236 ( △ 14.8)	257 ( △ 15.4)	169 ( △ 14.4)	4,660 ( 8.6)	11.1 ( 11.7)
五洋建設	4,710 ( △ 17.9)	304 ( △ 8.1)	305 ( △ 6.1)	209 ( △ 10.1)	5,052 ( 14.9)	10.0 ( 8.8)
	4,910 ( 4.2)	290 ( △ 4.8)	285 ( △ 6.7)	200 ( △ 4.7)	5,310 ( 5.1)	9.7 ( 10.0)
熊谷組	4,502 ( 3.2)	280 ( 10.3)	284 ( 10.4)	179 ( △ 7.8)	2,833 ( △ 12.8)	10.4 ( 10.0)
	4,510 ( 0.2)	270 ( △ 3.8)	274 ( △ 3.5)	186 ( 3.8)	3,350 ( 18.2)	10.7 ( 10.4)
三井住友建設	4,216 ( △ 10.7)	155 ( △ 37.1)	130 ( △ 45.3)	87 ( △ 43.8)	3,163 ( △ 6.5)	8.2 ( 9.6)
	4,320 ( - )	185 ( - )	160 ( - )	100 ( - )	3,600 ( 13.8)	10.1 ( 8.2)
フジタ (単体)	3,792 ( △ 27.2)	122 ( 23.5)	88 ( 3.6)	55 ( △ 7.2)	4,307 ( △ 14.8)	11.3 ( 6.8)
	4,050 ( 6.8)	141 ( 15.5)	127 ( 43.2)	85 ( 52.4)	4,553 ( 5.7)	11.9 ( 11.3)
安藤ハザマ	3,520 ( △ 6.9)	273 ( 10.8)	258 ( 8.0)	171 ( 2.3)	3,008 ( △ 20.9)	13.4 ( 12.3)
	3,720 ( 5.7)	249 ( △ 9.0)	234 ( △ 9.6)	158 ( △ 8.1)	3,350 ( 11.3)	11.9 ( 13.4)
西松建設	3,362 ( △ 14.1)	209 ( △ 17.2)	215 ( △ 16.6)	171 ( △ 8.3)	3,122 ( △ 13.5)	10.7 ( 10.7)
	3,370 ( 0.2)	210 ( 0.2)	212 ( △ 1.7)	143 ( △ 16.7)	3,475 ( 11.3)	11.3 ( 10.7)
東急建設	2,314 ( △ 28.1)	35 ( △ 82.5)	48 ( △ 77.7)	26 ( △ 82.2)	3,066 ( 58.6)	8.3 ( 11.2)
	2,850 ( 23.1)	70 ( 97.2)	73 ( 49.2)	48 ( 81.3)	2,570 ( △ 16.2)	7.8 ( 8.3)
奥村組	2,207 ( △ 2.5)	128 ( 11.8)	147 ( 11.3)	102 ( 5.0)	2,222 ( 1.5)	12.8 ( 11.5)
	2,310 ( 4.7)	103 ( △ 20.0)	112 ( △ 24.2)	92 ( △ 10.6)	2,300 ( 3.5)	11.5 ( 12.8)
東亜建設工業	1,897 ( △ 0.3)	87 ( 9.5)	92 ( 21.6)	68 ( 37.0)	2,487 ( 19.8)	9.2 ( 9.0)
	2,230 ( 17.5)	90 ( 3.3)	87 ( △ 5.9)	60 ( △ 12.5)	1,910 ( △ 23.2)	8.5 ( 9.2)
鉄建建設	1,820 ( △ 5.6)	62 ( 7.4)	64 ( 7.2)	43 ( △ 11.6)	1,535 ( △ 13.3)	- ( - )
	1,770 ( △ 2.8)	63 ( 0.9)	61 ( △ 6.0)	39 ( △ 11.1)	- ( - )	- ( - )
東洋建設	1,729 ( △ 1.0)	142 ( 53.8)	141 ( 53.8)	91 ( 59.1)	1,582 ( 33.8)	13.2 ( 9.9)
	1,700 ( △ 1.7)	92 ( △ 35.5)	91 ( △ 35.5)	60 ( △ 34.6)	1,890 ( 19.4)	10.7 ( 13.2)
大豊建設	1,616 ( △ 0.7)	90 ( 6.5)	94 ( 9.8)	62 ( △ 5.8)	1,262 ( △ 3.1)	8.4 ( 8.1)
	1,600 ( △ 1.1)	86 ( △ 5.1)	86 ( △ 8.7)	56 ( △ 10.6)	1,200 ( △ 5.0)	8.8 ( 8.4)
青木あすなろ建設	1,531 ( △ 1.7)	59 ( △ 19.5)	59 ( △ 19.7)	40 ( △ 12.8)	751 ( △ 22.0)	8.0 ( 10.0)
	1,510 ( △ 1.4)	64 ( 7.5)	63 ( 6.6)	41 ( 2.2)	910 ( 21.1)	9.5 ( 8.0)
浅沼組	1,389 ( △ 1.8)	52 ( △ 19.8)	53 ( △ 17.6)	41 ( △ 3.8)	1,191 ( △ 18.2)	9.8 ( 10.1)
	1,400 ( 0.8)	53 ( 0.9)	52 ( 1.6)	41 ( 0.8)	1,300 ( 9.0)	9.7 ( 9.8)
東鉄工業	1,329 ( △ 9.0)	139 ( △ 6.3)	142 ( △ 6.9)	96 ( △ 9.1)	1,205 ( △ 8.4)	15.5 ( 14.6)
	1,315 ( △ 1.1)	101 ( △ 27.4)	103 ( △ 27.9)	70 ( △ 27.8)	- ( - )	- ( 15.5)
飛鳥建設	1,172 ( △ 13.0)	39 ( △ 49.1)	36 ( △ 50.2)	24 ( △ 52.0)	1,250 ( 17.2)	9.4 ( 11.1)
	1,320 ( 12.5)	42 ( 5.1)	38 ( 3.4)	24 ( △ 2.1)	1,220 ( △ 2.4)	9.0 ( 9.4)
ビーエス三菱	1,172 ( 10.9)	83 ( 72.0)	84 ( 72.0)	55 ( 74.0)	1,145 ( 10.6)	13.8 ( 12.0)
	1,097 ( - )	49 ( - )	48 ( - )	34 ( - )	1,074 ( △ 6.2)	11.5 ( 13.8)
ナカノフドー建設	1,160 ( △ 0.8)	16 ( △ 60.5)	18 ( △ 58.6)	3 ( △ 87.4)	709 ( 0.9)	- ( - )
	1,120 ( △ 3.5)	32 ( 97.2)	33 ( 81.5)	21 ( 468.6)	- ( - )	- ( - )
銭高組	1,057 ( △ 20.4)	46 ( △ 22.7)	56 ( △ 18.6)	32 ( △ 27.8)	1,202 ( 18.9)	8.0 ( 7.8)
	1,026 ( △ 3.0)	23 ( △ 49.8)	32 ( △ 43.1)	20 ( △ 37.6)	1,100 ( △ 8.6)	- ( 8.0)
若築建設	898 ( △ 16.7)	29 ( △ 42.1)	30 ( △ 36.6)	18 ( △ 38.8)	884 ( △ 7.5)	8.7 ( 9.5)
	980 ( 9.1)	43 ( 49.1)	41 ( 36.1)	27 ( 49.0)	930 ( 5.1)	- ( 8.7)

※21年3月期売上高概。億円未満切り捨て。下段は22年3月期予想、カッコ内は前年同期比(完工総利益率は前年同期値)。完工総利益率と受注高は単体の数値  
 ※「大林組建設」は21年3月期の営業利益の前年比は「前年実績」に関する会社発表、その他の項目は公表済